

製品名: アリールスルファターゼ G ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07186**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	ARSG
別名	ARSG; KIAA1001; Arylsulfatase G; ASG
遺伝子 ID	22901.0
SwissProt ID	Q96EG1
免疫原	抗血清はヒト ARSG 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

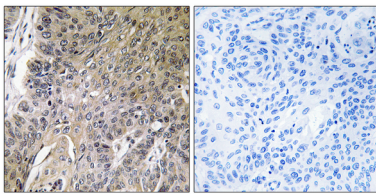
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、スルファターゼ酵素ファミリーに属します。スルファターゼは、硫酸化ステロイド、炭水化物、プロテオグリカン、糖脂質から硫酸エステルを加水分解します。ホルモン合成、細胞シグナル伝達の調節、高分子

の分解に関与しています。このタンパク質は、リソソームスルファターゼに典型的な酸性 pH でアリアルスルファターゼ活性を示し、リソソームに局在することが示されている。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012年6月],補因子:サブユニットあたり1個のカルシウムイオンを結合します。 ,PTM:N-グリコシル化されています。 ,PTM:原核生物ではセリンまたはシステイン残基、真核生物ではシステイン残基の 3-オキソアラニン (C-ホルミルグリシン、FGlyとも呼ばれる) への変換は、触媒活性にとって重要です。 ,類似性:スルファターゼファミリーに属します。 ,組織特異性:広く発現しています。 ,

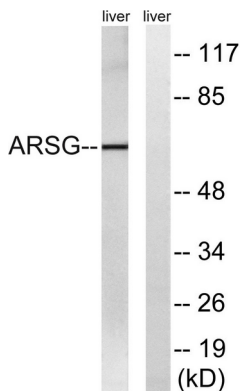
研究分野

リソソーム;

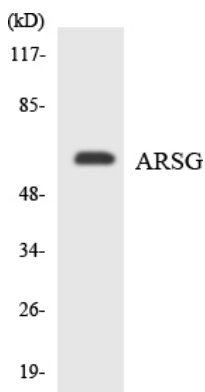
画像データ



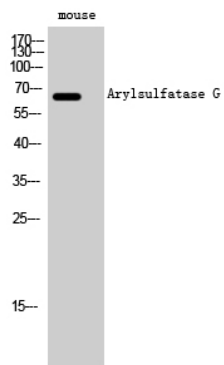
ARSG 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



ARSG 抗体を用いたマウス肝臓ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ARSG 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



アリアルスルファターゼ G ポリクローナル抗体を用いたマウス細胞のウェスタンブロット分析